様式第１号（第１０条関係）

２０２４年度業務実績報告書

提出日　2025 年 1 月 16 日

１．職名・氏名　准教授・山崎　淳

２．学位　　学位　修士、専門分野　経営情報学、授与機関　多摩大学大学院、授与年　1998 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 中小企業論Ⅰ（2 単位）2 年次
②　内容・ねらい 中小企業は、多様な存在であることから、理解を深めるためには基礎知識と理論的枠組み、その上で獲得された確かな分析視点で実態に迫ることが求められる。そこで、中小企業におけるさまざまな議論と実例を解説しながら、中小企業の「問題性」、「発展性」を含めた本質に迫るための基礎的枠組みを提供した。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 中小企業が地域社会の形成者であることに着目し、地域経済の担い手としての役割について身近な事例を紹介することで、学習意欲を高めるよう工夫した。中小企業経営者から入手した映像資料を活用するなど、臨場感のある授業を目指した。また、現実的課題を理解するためにケース・スタディを試みた。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 中小企業論Ⅱ（2 単位）2 年次
②　内容・ねらい 中小企業政策、中小企業金融など基本的な知識について理解ができるようになることを狙いとしている。さらに中小企業に関する議論を示すことはもちろんのこと、知識集約的なイノベーターとしての中小企業である「ベンチャー企業」についての理解を深めるところまで発展させた。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 新聞記事から学んだ内容について議論を行い、現実的課題を理解するように工夫した。中小企業経営者から入手した映像資料を活用するなど、臨場感のある授業を目指した。また、企業において重要性が高まっている新規事業開発について取り上げ、演習を試みた。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 地域経済論（2 単位）3 年次（隔年）
②　内容・ねらい 地域に関するさまざまな議論を示す。そして地域経済論の基礎知識を習得したうえで、海外諸国の動向、日本の動向について把握していく。さらに身近な事例を取り上げ、現実的課題についての理解を深める内容とした。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 新聞記事をとおして学んだ内容について議論を行い、現実的課題を理解するように工夫した。事例や映像資料を用いることで学習意欲が高まるよう工夫した。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 基礎ゼミ（2 単位）2 年次
②　内容・ねらい 起業家の特徴を理解する。起業家（アントレプレナー）が新たな事業を創出し、挑戦することの魅力に気づき、起業家への理解を深める。起業家、企業を自ら調査・分析する力をつける。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
誰もが知る日本の起業家についての本、雑誌、記事、映像を活用し理解を深めた。さらにグループでの分析、発表、さらに各自の注目する起業家について調べ、ポスター発表することで学習意欲を高める工夫を行った。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
外書講読Ⅰ（2 単位）2 年次

② 内容・ねらい
世界のベンチャー企業、中小企業の動向、起業家の視点について理解する。経営・経済用語について理解し、最新の企業経営の知識を高める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
世界的に活躍するベンチャー企業、起業家、企業家精神に関する海外のインタビュー記事、資料、起業家の座右の書などを活用した。文章から理解した内容をもとに発展問題に取り組むことで興味を高め、今後の学習につなげるようにした。チーム（3 名程度）で学習したことを発表する機会を提供し、学習意欲を高めるよう工夫した。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅰ（4 単位）3 年次

② 内容・ねらい
中小企業、ベンチャー企業を研究対象とした。具体的には、「企業とは何か」からはじめ、中小企業・ベンチャー企業の経営の特徴を理解することを目指した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
基本テキストを活用し討議を行った。問題提起、自己の主張ができるよう丁寧に議論を重ねた。新聞やビジネス雑誌を活用し企業経営の現実的課題を理解し、卒業論文のテーマの絞り込みを行えるように工夫した。
９月に社団法人横浜市工業連合会横浜青年経営者会の協力を得て「第 10 回研究発表会」（9 社、1 公益財団）、企業見学（１社）を開催した。今回は、事業計画作成に取り組むことをとおして、経営に関する興味、知識を高めた。
9 月に三菱みなとみらい技術館（横浜市）を訪問し、三菱重工業㈱による科学技術に関する展示、体験コーナーで学習した。
【フィールドワーク 研究発表会１件（参加企業 9 社、団体１）、企業見学１件、企業ミュージアム見学１件】

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
演習Ⅱ（4 単位）4 年次

② 内容・ねらい
演習Ⅰでの学習を発展させ、関心のあるテーマを設定し卒業論文の作成に取り組む。卒業論文の作成をとおして、論理的な思考力、分析力、文章力を養う。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
卒業論文の作成をとおして、文献、資料の集め方、調査の準備など支援を行った。
「第 10 回研究発表会」では、演習Ⅰの学生への学習支援を担うことで、中小企業、経営に対する関心、知識を高めるように工夫した。
９月に社団法人横浜市工業連合会横浜青年経営者会の協力を得て「第 10 回研究発表会」（9 社、1 公益財団）、企業見学（１社）を開催した。
9 月に三菱みなとみらい技術館（横浜市）を訪問し、三菱重工業㈱による科学技術に関する展示、体験コーナーで学習した。
【フィールドワーク 研究発表会１件（参加企業 9 社、団体１）、企業見学１件、企業ミュージアム見学１件】

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
教養特講Ｄ（福井を学ぶ）（2 単位）1・2・3 年次（※オムニバス、分担 担当コマ数：１）

②　内容・ねらい 「地域と中小企業　福井の事例から考える」をテーマとした。福井地域経済の特徴を示したうえで、「福井県」の中小企業の量的把握を試みた。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 地域と中小企業について福井県内の身近な事例を用いることで学習意欲が高まるよう工夫した。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 経営学総論Ⅱ（2 単位）1 年次（※オムニバス、分担 1 月　担当コマ数：1）
②　内容・ねらい 第 14 回「中小企業論」 中小企業論Ⅰ、Ⅱで学ぶ内容の全体像を示す。中小企業を理解するための視点について知ることや、地域と中小企業について理解を深めることで、今後の学習の参考にする。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 中小企業の現状を理解するためのデータや新聞記事を示すことで興味を高められるようにした。また、経営者、企業を理解することの難しさについてもわかりやすく説明した。 他の科目との関係についても説明することで、今後の履修の参考にしてもらえるように工夫した。
(2)その他の教育活動
①　担当科目名（単位数）　開講学校名 中小企業論Ⅰ（2 単位）関東学院大学
②内容・ねらい 中小企業におけるさまざまな議論と実例を解説しながら、中小企業の「問題性」、「発展性」を含めた本質に迫るための基礎的枠組みを提供することを主たる内容とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 中小企業に関する議論を示すのはもちろんのこと、知識集約的なイノベーターとしての中小企業である「ベンチャー企業」についての議論まで発展させることで興味を持てるようにした。
④本学における業務との関連性 多くの学生との議論、そして指導をすることによって本学での中小企業論Ⅰの授業改善に役立てることができる。また、講義の準備は本学での研究に応用できる。
①担当科目名（単位数）　開講学校名 中小企業論Ⅱ（2 単位）関東学院大学
②　内容・ねらい 多様性の中にみられる中小企業の本質に迫るための基礎的枠組みを提供することを主たる内容とした。また、中小企業は地域社会の形成者であることに着目し、地域経済の担い手としての役割について理解する。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 配布資料、映像資料などを活用し、学習意欲が高まるよう工夫した。また、質疑応答の時間を確保することで理解が深まるようにした。
④　本学における業務との関連性 多くの学生との議論、そして指導をすることによって本学での中小企業論Ⅱの授業改善に役立てることができる。また、講義の準備は本学での研究に応用できる。
①　担当科目名（単位数）　開講学校名 地域経済論（2 単位）関東学院大学
②　内容・ねらい 地域におけるさまざまな問題の発生のメカニズムについてさまざまな角度から考え、地域の

あり方、これからの方向を考える基礎となる知識、視点を獲得する。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 　現実的課題についての理解ができるように神奈川県、横浜市という身近な事例を取り上げ、横浜市の調査レポートなどを活用した。
④　本学における業務との関連性 　多くの学生との議論、そして指導をすることによって本学での地域経済論の授業改善に役立てることができる。また、講義の準備は本学での研究に応用できる。

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【　本】
②学術論文（査読あり） 【　本】
③　その他論文（査読なし） 【　本】
④学会発表等 【　件】
⑤その他の公表実績 【　１本】 講師 １．全国中小企業団体中央会　令和５年度初任者基礎研修 テーマ「中央会を取り巻く現状と連携・組織化の展望２０２４」2024 年６月
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
(3)特許等取得
(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

①　国・地方公共団体等の委員会・審議会
②　国・地方公共団体等の調査受託等
③　公益性の強い）NPO･NGO 法人への参加
④　兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤　学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥　公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座
⑦　その他

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
入学試験本部委員 ハラスメント相談員
(3)学内行事への参加
入試説明会 武生商工高校　７月８日　大学概要説明、学部紹介 敦賀高校　７月１６日　大学概要説明、学部紹介 敦賀気比高校　８月１９日　大学概要説明、学部紹介 福井南高校　８月２２日　大学概要説明、学部紹介 福井商業高校　９月１０日　大学概要説明、学部紹介
(4)その他、自発的活動など